

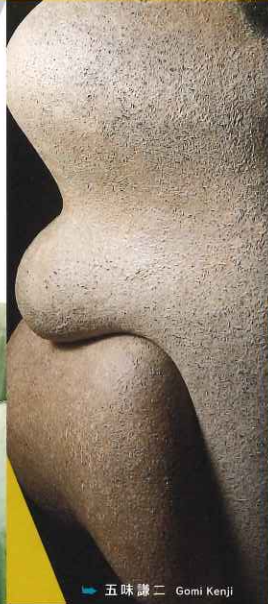
# Ushida Collection

The Present Situation of Artists and their Works

# 牛田コレクション作品と作家の現在



石橋裕史 Ishibashi Yushi



五味謙二 Gomi Kenji



伊村俊見 Imura Toshimi Photographed by Shibata Hajime



中島晴美 Nakashima Harumi Photographed by Tanaka Yoshinori



黒川 徹 Kurokawa Toru



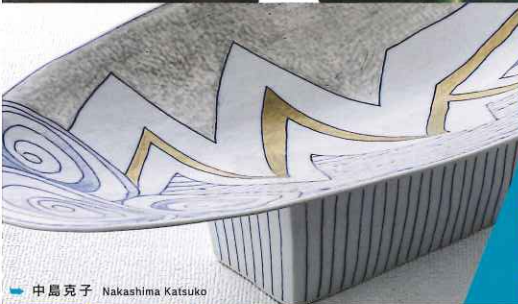
鈴木 徹 Suzuki Tetsu



酒井博司 Sakai Hiroshi



佐藤雅之 Sato Masayuki



中島克子 Nakashima Katsuko



川端健太郎 Kawabata Kentaro Photographed by Takahashi Kenji



柳原睦夫 Yanagihara Mutsuo Photographed by Hatakeyama Takashi



若尾 経 Wakao Kei



林 恭助 Hayashi Kyosuke



森野彰人 Morino Akito

2020 10.4 SUN >>> 11.29 SUN

多治見市文化工房 ギャラリー ヴォイス 入場無料  
開催時間 / 10:00 ~ 18:00 (最終日は15:00まで) 休廊日 / 水曜日

SYMPOSIUM 2020 10.4 SUN

シンポジウム 13:30 ~ 15:00  
「作品と現在のあいだ」《ご予約制》\*  
PARTY 交流会 16:00 ~

シンポジウムコーディネーター  
\* 林 izabeth (岐阜県現代陶芸美術館 学芸員)  
パネリスト (出展作家)  
\* 川端健太郎 \* 酒井博司  
\* 鈴木 徹 \* 中島晴美

\*新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、シンポジウムへのご参加の際はお手数ですが、事前登録をお願い申し上げます。  
ご予約はお電話・HPにて承ります。詳しくは裏面をご覧ください。

【お問い合わせ】 多治見市文化工房 ギャラリー ヴォイス URL: <https://gallery-voice.jp/>  
〒507-0033 岐阜県多治見市本町5-9-1 陶都創造館3F TEL 0572-23-9901 FAX 0572-23-9902 E-mail g-voice@ob2.aitai.ne.jp



■中央自動車道 多治見ICから車で約10分 ■JR多治見駅から徒歩約15分

主催：多治見市 / 多治見市文化工房 ギャラリー ヴォイス  
「多治見市文化工房 ギャラリー ヴォイス」は  
指定管理者制度により 株式会社共栄電気が製作物が  
多治見市から委託して管理しています。



SYMPOSIUM

2020 10.4 SUN 13.30~

シンポジウム「作品と現在のあいだ」

[会場] 多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス 岐阜県多治見市本町5-9-1 陶都創造館3F TEL 0572-23-9901

SYMPOSIUM COORDINATOR シンポジウムコーディネーター

林 いづみ Hayashi Izumi



岐阜県現代陶芸美術館 学芸員
1992年生まれ、神奈川県出身。慶應義塾大学文学部美術学専攻卒業後、2015年より岐阜県現代陶芸美術館 学芸員として就任。

PANELIST パネリスト

川端 健太郎 Kawabata Kentaro



1976 埼玉県生まれ
1999 東京アソサイナー学院-陶芸科 卒業
2000 多治見市陶磁器産業研究所第41期技術コース 修了
現在 多治見市在住
(受賞)
2001 磁器の心作陶展 大賞
2002 磁器の心作陶展 審査員特別賞
2003 カラー・ジュエリー陶芸展(スイス)
2004 磁器の心作陶展 加賀田賞二賞
朝日陶芸展'02.'03.
2005 第4回 国際陶磁器展
2007 パラミタ陶芸大賞展 大賞
2008 出石磁器トリエンナーレ'02.'04.
(主な展覧会)
2004 MING CERAMIC NOW 2004(岐阜県現代陶芸美術館)
2008 新潟陶芸家による「東海現代陶芸の今」展(愛知県陶磁器資料館)
2009 視野の力(東京都立近代美術館 工芸部)
世界現代陶磁展(第5回 京都市世界現代陶芸展)
2010 SOFAL(ソファ)07
カラ「やきもの」のなかのなか(岐阜県現代陶芸美術館)
2012 Ceramics Now Exhibition, 3rd edition(Galateea Gallery/パレスト)
2013 La ceramique japonaise (パリ)
二十世紀の磁器(宝塚アートミュージアム)
2014 現代陶磁器展(茨城県陶芸美術館)
Dialogue with Materials: Contemporary Japanese Arts and Crafts(AASSM/イズミール、トルコ)
「第2回 陶磁器展 工芸の現在」展(新潟県立近代美術館)
やきもの現在 土から成るかたちPartXIV(ギャラリーヴォイス/多治見)
PUNK 工芸一歩の経済(東京都美術館/東京)
現代美術が紡ぎだす(現代美術 興隆/東京)
2019 "土B-A Group with Materials Exhibition of Contemporary Ceramics"(SHOP Taka Ishii Gallery/Hong Kong)
他、他、他多数

酒井 博司 Sakai Hiroshi



1960 岐阜県土岐市に生まれる
1983 名古屋工業大学 卒業
1985 多治見市陶磁器産業研究所 修了
加藤孝治氏に師事
現在 日本工芸会正会員/東海陶磁器協会理事
(受賞)
2002 国際陶磁器展東海陶芸部門 銀賞
2010 一水会陶芸展 佳作賞
現在形の陶芸 大賞展2010 岩国美術部賞
2013 陶芸展 日本陶芸美術協会賞(最高賞)
東海陶磁器展 三島県教育委員会賞
2019 陶芸展 インテリアアワード賞(優秀賞)
(展覧会)
1991 「土・メッセージ」展(95.'98)
1992 朝日陶芸展'94.'95.'96.'00
1995 陶芸展(97.'99)
1998 磁器の心作陶展'00.'02
国際陶磁器展東海陶芸部門'02)
日本伝統工芸展'04~'14.'16~'20)
一水会陶芸展'02.'10)
2009 日本陶芸展'07)
ファエナズ国際陶磁器展'05.'15)
第17回 東海信用金庫永年保存作品展に選定
台湾国際陶磁器展'08.'16)
「土から陶へ」の道形展-Part1- 企画
2005 朝日陶芸展
(パブリックコレクション)
外務省国際交流基金/World Ceramic Exposition Foundation(韓国)/美濃焼ミュージアム(多治見)
岐阜県現代陶芸美術館/ファエナズ国際陶磁器展(イタリア)/茨城県陶磁器資料館
台北県立鶯歌博物館(台湾)/利川世界陶磁器センター(韓国)/第2回 牛田コレクション(多治見)/岐阜県美術館

鈴木 徹 Suzuki Tetsu



1954 岐阜県多治見市に生まれる
1988 京都府工芸院窯業科卒業
2011 平成22年度東海陶芸作品永年保存事業(東海信用金庫[多治見市])に選定される
2012 平成23年度東海陶芸文化継承功績者表彰
2004~2013 名古屋芸術大学美術学部非常勤講師
2013 母校である総合大学より「賞状賞状賞」受賞
2016 平成27年度日本陶磁器協会賞
現在 (社)日本工芸会正会員
(展覧会)
2003 信濃(松本)市古本本店/愛知'03.'07.'12.'16)
2004 信濃(松本)市古本本店/香川)
2005 信濃(日本橋三越本店/東京)
2006 信濃(岐阜)市高島屋/岐阜)
2007 東京アートフェア(東京美術倶楽部)緑の形 鈴木徹展
2008 東海現代陶磁の今(愛知県陶磁器資料館/愛知)
若狭の「やきもの」展(松江陶磁館/松江)
伊藤隆 鈴木徹二人展(丸善百貨店/東京)
三越美術部100年記念「ヌーヴェル・エル」茶器の今」展
信濃(天理)市本町店美術部/山梨'16)
信濃(天理)市本町店美術部/山梨'16)
2010 信濃(現代)展 實土の心(東京)'18)
信濃(大原)市高島屋/大原'13.'18)
2011 信濃(アート)サロン光栄/愛知'15)
2012 信濃(天理)市本町店/山梨'16)
2013 信濃(柿崎)ギャラリー/東京'17)
信濃(宇治)市しんまち美術館/鳥取)
工芸からKOGEへ(東京都立近代美術館工芸部/東京)
「花器の由来」展 (現代陶芸家土里/東京)
2015 信濃(ぎやうらい)東本/新潟)
信濃(高島屋)市高島屋/神奈川'18)
2016 信濃(そごう)徳島店/徳島)
信濃(徳島)市西/北海道)
第11回「やきもの」大賞展
信濃(そごう)千原店/千葉)
「陶磁器をいじめる」展(丸善百貨店/東京)
「日本橋三越本店/東京)
2018 信濃(信濃)市三越/信濃)
2019 信濃(信濃)市三越/信濃)
信濃(信濃)市三越/信濃)
信濃(信濃)市三越/信濃)
2020 信濃(信濃)市三越/信濃)
(パブリックコレクション)
兵衛陶磁器美術館/第3回 牛田コレクション(多治見)/新潟県立近代美術館/東海信用金庫/岐阜県現代陶芸美術館

中島 晴美 Nakashima Harumi



1950 岐阜県恵那市生まれ
1973 大阪芸術大学デザイン科陶芸専攻 卒業
1973 信濃にて制作(-75)
1976 多治見市陶磁器産業研究所勤務(-03)
2000 滋賀県立陶芸の窯作研習所に招聘-制作
2001 European Ceramic Work Centerに招聘-制作(オランダ)
2003 愛知教育大学 教授(-14)
2014 愛知教育大学 特別教授(-16)
2019 上虞現代陶磁器センター招聘-制作(中国/上海)
現在 国際陶芸アカデミー(I.A.C)委員
多治見市陶磁器産業研究所 所長
(受賞)
1980 毎日IP賞 特選2階 受賞
1989 国際陶磁器展'89陶芸部門 審査員賞
1995 国際陶磁器展'95陶芸部門 金賞受賞
2010 2009年度日本陶磁器協会賞
(近年の展覧会)
2016 東京都立近代美術館工芸部名品展(宮崎県立美術館)
日本陶磁器協会賞(和光ホール)
愛知陶磁器展(岐阜) 中島晴美-山口英吾-藤原展(ギャラリー数寄/愛知)
よしの形展(ギャラリーヴォイス/多治見)
やきもの現在 牛田コレクションを中心に(ギャラリーヴォイス/多治見)'17.'18.'19)
東京都立近代美術館工芸部名品展 日本工芸の100年(島根県立美術館)
現代陶芸-室内(イノ) (茨城県陶芸美術館)
2017 陶の表現-磁器からのNew Vista (伊藤/東京)
140人の道形展(ギャラリー数寄/愛知)
ひろがる工芸 東京都立近代美術館工芸部名品展V(即売部/新博物館)
国際陶磁器フェスティバル&美術館の歩み展(岐阜県現代陶芸美術館)
18周年企画 好きなかたち展(ギャラリー数寄/愛知)
KOGE Art Fair Kanazawa 2017 (KUMU 金沢-THE SHARE HOTELS/金沢、ギャラリー数寄より出品)
To Ideal Land of Ceramics Exhibition of International Contemporary Ceramic Works (TSINGHUA UNIVERSITY ART MUSEUM/北京)
CERAMICS NOW: THE FAENZA PRIZE IS 80 YEARS OLD (International Museum of Ceramics in Faenza)
国際陶磁器フェスティバル/伊豆 嵯峨 信濃の継承展(そごう美術館/横浜)
東京都立近代美術館工芸部特選展「かた・ちをめぐる道形」(小松市立本陣記念美術館/石川県)
20周年企画 現代陶芸 オブジェの現在進行形-多治見市陶磁器産業研究所-「ギャラリー数寄/愛知」
やきもの現在 牛田コレクションを中心に 2019年 展覧(ギャラリーヴォイス/岐阜)
みたーこどもからの陶磁展(東京都立近代美術館工芸部/東京)
20周年企画 好きなかたち展 陶器と食器(ギャラリー数寄/愛知)
形而上-現代陶磁器展(現代美術館/中国)
LIVING KOGE! Contemporary Japanese Craft from the Ise Collection (香港大学美術博物館/香港)
(パブリックコレクション)
エバーソン美術館(ニューヨーク)/東京都立近代美術館/国際交流基金/茨城県陶磁器資料館/滋賀県立陶芸の窯/愛知陶磁器資料館
岐阜県現代陶芸美術館/プラハ国際陶磁器展(チェコ)/World Ceramic Exposition Foundation(韓国)/ファエナズ国際陶磁器資料館(イタリア)
多治見市美術館/EKWC(European Ceramic Work Center/オランダ)/Museum of Arts and Design(ニューヨーク)
高松市美術館/第1回 牛田コレクション(多治見)/金沢21世紀美術館/Victoria and Albert Museum(ロンドン)
ヘッセン陶磁器美術館(ドイツ/テュービンゲン)

新型コロナウイルス 感染防止対策 についてのお願い

シンポジウムへのご参加の際はお手数ですが、事前登録をお願い申し上げます。
ご予約はお電話・HPにて承ります。



新型コロナウイルス感染防止対策の影響により、休廊や予定の変更をする場合がございます。お手数ですがお問合せの上お越しください。HPにも休廊情報を掲載しております。